

細江カトリック教会だより 9月

〒750-0016 下関市細江町 1-9-15

☎083-222-2294 ☎083-222-0970

広島教区テーマ：平和の使徒となろう

チャレンジ新しい福音宣教 ～わたしをお使ってください～

—家庭へのチャレンジ—

マザー・テレサを記念して



今もインド東部の町コルカタの人々にとって9月5日という日は忘れられない月です。コルカタの貧しい人々の母とも呼ばれていたマザー・テレサがこの

世を去ったのは、18年前のこの日でした。マザー・テレサのおかげで、コルカタという町の名前も世の中に知られるようになりました。現代はコルカタといえば誰しもマザー・テレサのことを思い出します。そしてたくさん人々はボランティアなどを通してコルカタのマザー・テレサの施設を訪れるようになり、ある意味で大きな福音宣教の場にもなっています。

コルカタで働いているある日本人シスターによるとそこを訪れる人の大半は未信者で、以前には宗教とのかかわりのなかった人が多いそうです。そのような人々には、ボランティア活動などで初めてキリスト教と出会い、その精神に触れる機会でもあります。

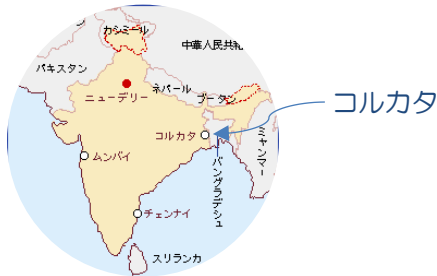
ここで考えさせることが一つあります。今の世の中では、一般の人々は「神」、「宗教」といった言葉や宗教的な組織などからできるだけ距離を置くことが普通とされるようになってきました。しかしそのような人々たちもマザー・テレサの「神の愛の宣教者修道会」がやっている施設などに行き、彼らの活動に協力しています。

普段から宗教的には門外漢として事象している人が、どうしてマザー・テレサのような一人の宗教者が創立した修道会の様々な活動に魅力を感じるようになるのでしょうか。それは一般的に言うと、マザー・テレサの人を助ける活動に興味をもったからであると言えるでしょう。要するに、その活動的な次元に動かされたのです。そのような活動に自分も携わりたい、という彼らの望み自体はとてもよいことでしょう。

しかし、マザー・テレサが創立した神の愛の宣教者会のあまり知られていないもう一つの面があります。一般にカトリックの世界のなかでも、神の愛の宣教者会は活動を中心とした修道会としてみなされています。しかし同じ修道会のなかで観想修道会的な生き方をしている修道女たちのグループも存在しています。活動中心に動いている姉妹たちのグループと比べると、観想的な生き方をしているシスターの数は少ないですが、その修道女たちの役割は活動している姉妹たちのために絶え間なく祈ることです。1日24時間、1年365日、ご聖体の前で絶え間ない礼拝を通して、祈りと瞑想をもって修道会全体を支えているのです。要するにマザー・テレサが創立した神の愛の宣教者会では、活動的な次元が目立っていますが、同じ修道会の中で観想的な生き方をしているほかの姉妹たちの祈りによる支えが一つの特徴です。もちろん活動を中心としている姉妹たちも、毎日1時間、ご聖体の前で祈りの時間を持つことになっていますが。

世の中の人々から見ると、マザー・テレサが行ったことは、数多くある様々なNPOやNGO団体のように人を助ける組織の一つのように見えるかもしれませんが、実際にはそこにはただ人を助ける活動をしたという意思だけではなく、神様への強い信頼と信仰といった次元があることを忘れてはいけません。

ボニー・ジェームス 神父



シリーズ 地区だより

家庭へのチャレンジ V

後田地区

私は仏教の家庭に生まれましたが、それ程信仰心はありませんでした。

カトリック教会との出会いは松山カトリック教会で結婚式を挙げたことでした。教会は魅力的で憧れがありましたが、仕事に走っていましたので振り返る時間がありませんでした。

下関の地に赴任し、妻が洗礼を受けてから私も一緒に細江教会の行事等に交わって細江教会の方々とは勿論、彦島教会や長府教会の仲間とも知り合いになり、そして4年前に受洗の恵みをいただきました。その時の感銘は言葉では表すことができないほどでした。

洗礼のきっかけになったのは、マリッジエンカウンター (ME) のウィークエンドに小旅行気分であらゆることに気軽に参加したことです。(必ずしもMEは信者でなくてもよいと思う) その時のテーマは“愛は決断”それを目にした瞬間に何か熱いものを感じ、これは「洗礼

の決断だ！」と思いました。

背中を押してくださったのは、神父様方と代父である彦島教会の真浦氏と仲間達。神様の導きと、何でも相談できる良き仲間達の出会いで、ここまで来れたことを感謝しています。

暁の星幼稚園で培われた大切な息子達には、いのちの尊さと今生きている自分を見つめて、神様の存在を感じて気づき気づかされて生きてほしいと思います。

私達の生き方が問われて怖いのですが、自然に伝えられますように・・・

祈りと願いを込めて。

近藤 豊之



上智大学 STP の開催

47回目を迎えた今年の上智大学STPは7月31日から8月7日まで幼稚園の教室やホールを使用しての猛暑のなかでの開講でした。

西 聖旺君 (3回生) をリーダーに15名 (1,2回生11名) のスタッフと小4年～中3年の児童65名 (中学生15名、小6年生24名他) の参加でした。

STPの目的は一週間の短い時間ですが、小学生は英語に興味を持ってほしいし、中学生は英語が好きになってほしいとの思いで、そのきっかけ作りの一助となるようなプログラムだそうです。

下関の子どもたちの印象をお尋ねすると「真っ黒に日焼けしてとっても元気」という答えでした。又、下関の印象は角島に代表される海の美しさと唐戸市場の美味しい魚料理だったそうです。

オレンジのTシャツがユニホームのスタッフの皆さまの元気な礼儀正しい挨拶がとてもさわやかで、最終日に信徒会よりスイカ3

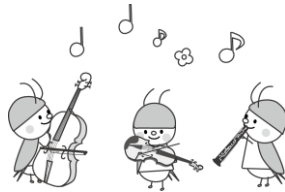
玉を差し入れました。来年も又お会いできることを楽しみにしています。

大住 昭夫



*STP が終わって・・・

生徒と学生の交流会の様子。



平和への集い 8/2 (日)



*今年にはボニー神父の司式で始まりました。

平和を祈る集会によせて

今年も 8月2日夕方、サビエル上陸記念

碑前での平和を祈る集会が開かれました。8月は、私たち日本人にとって特別な月です。8月6日広島、8月9日長崎への原爆投下、そして8月15日の終戦。私たちが平和についての思いを新たにする月に、この平和を祈る集会を開くことはとても意義のあることではないでしょうか。戦争を直接経験したことの無い年代が人口の8割を超えるこの時代に、あの戦争の悲惨さや戦争で亡くなった方々に思いをはせることはとても難しいことかもしれません。それでもなお、私たちはあの戦争を学び、その悲惨さや亡くなった方々の思いを自分自身のものにして、平和を語らなければならないと思うのです。この国を戦争のできる国にしないためにも。

長府教会 原田 孝幸



*天使の歌声が、私たちの祈りが・・・世界へ。悲惨な争いの地の人々の心に届きますように。神よ、私たちの祈りを聞き入れてください。



*シスター山本様のギターと長府教会の有志による踊りと共に参加者全員で「平和の大工」を歌う。

馬関祭り 8/22 (土)

*下関ブロックで

「愛の広場」に出店しました！



* 焼き鳥で参加した細江教会は若者の活躍で1時間位で完売！来年も頑張ろう！！準備は大変だけど楽しい一日でした。



* 彦島教会は「チヂミ」「綿菓子」「飲み物」を提供。子どもたちも一緒にお手伝いを楽しみました。

* 懐かしい綿菓子一ついかが？



* お客さまを待つ、長府教会の遊休品コーナー

- ☆ 6日(日) 9:00 宣教司牧評議会
- ☆ 8日(火) 10:00
心の泉による黙想と分かち合い
- ☆ // 19:00 ブロック委員会
- ☆ 12日(土) 10:30~12:00
キリスト教入門講座
- ☆ 13日(日) 9:00 社会教説
- ☆ 18日(金) 19:00 テゼの祈り
- ☆ 20日(日) 敬老の祝福
- ☆ 21日(月・祝) 典礼研修会(山口)
- ☆ // 萩教会献堂50周年祝
- ☆ 24日(木) 10:00
心の泉による黙想と分かち合い
- ☆ 26日(土) 10:30~12:00
キリスト教入門講座
- ☆ 27日(日) ミサ後、避難訓練
- ☆ 28日(月) 19:00 広報委員会

あきらめない！ 平和の創造を！
—今の状況は何処へ向かうのか？—
キリスト者の使命は？

林 尚志 神父さまの
社会教説学習会
9月13日(日)
9:00 ~
細江教会 1階ホール

9月の典礼と行事